

Quick-PAGE GODOのご案内

加熱処理せずにアプライ可能なSDS-PAGEサンプル処理液



参考: WO2011062174

1. サンプルと混和した後に加熱処理が必要
⇒ **手間の増大**
2. プロテアーゼ、ならびにプロテアーゼ混入
サンプルと混和した際に分解によるアーティ
ファクトが検出される
⇒ **正確なタンパク組成を反映していない**

**Quick-PAGE GODOは、上記2点に関する
改善を提案します**

1. サンプルと混和して直ぐにアプライできるので、時間と手間を短縮できます

従来法

サンプルと混和



加熱処理



ゲルにアプライ

Quick-PAGE GODO

サンプルと混和



ゲルにアプライ

ウシ血清
アルブミン



1

2

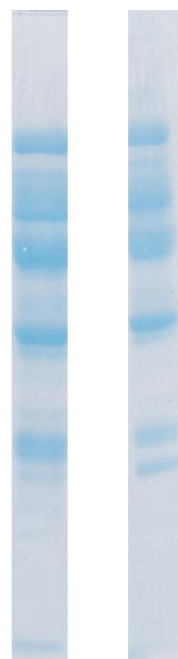
ウシ
 γ グロブリン



1

2

コウジカビ
培養液



1

2

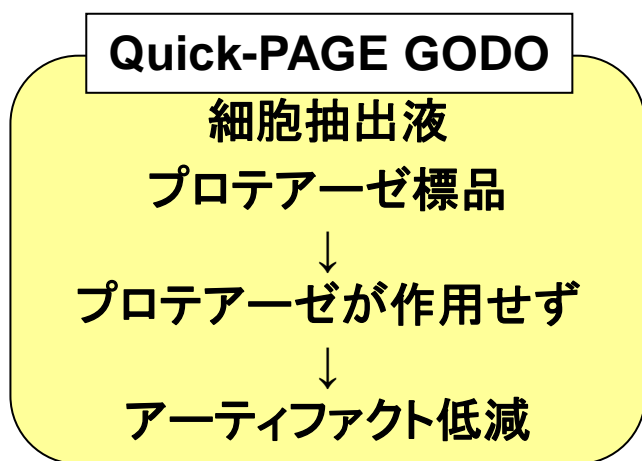
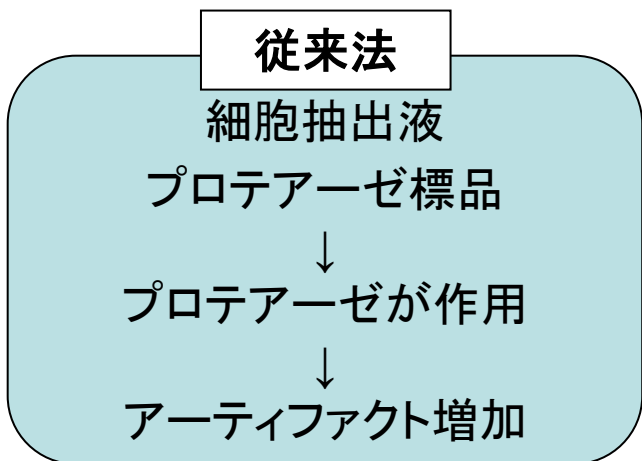
1: 従来法、 2: Quick-PAGE GODO

従来法によるサンプル処理と大きな違いはありません

2. プロテアーゼの影響が少ないので*、各種阻害剤を添加する必要がありません。

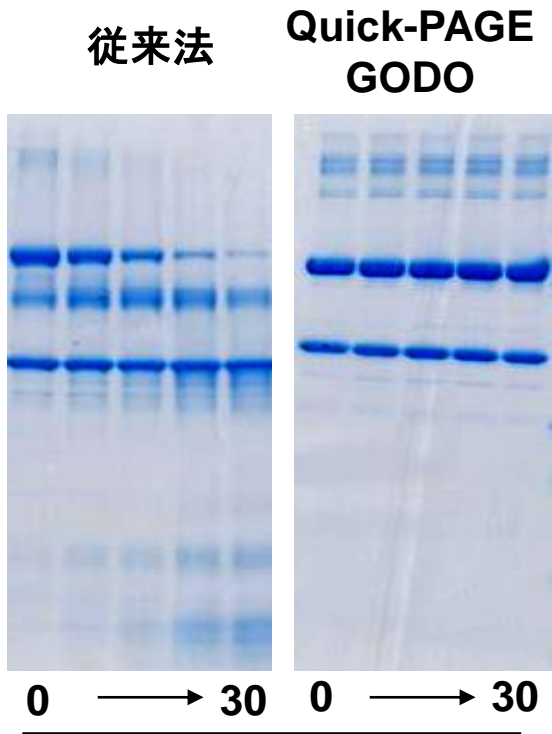
プロテアーゼ自身の評価にも利用できます。

* 全てのプロテアーゼに効果があるわけではありません

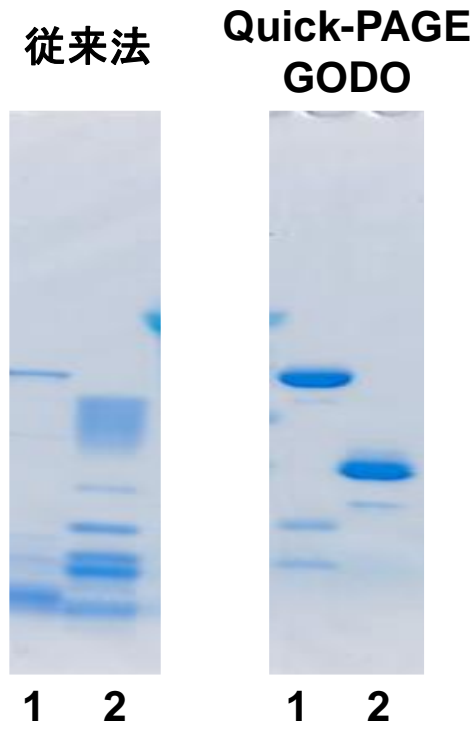


・プロテアーゼ添加BSAでの比較

・プロテアーゼ標品での比較



サンプル混和後の時間(分)
従来法は時間経過後に加熱



1: トリプシン
2: サチライシン

従来法で見られる分解バンドが大きく低減されます